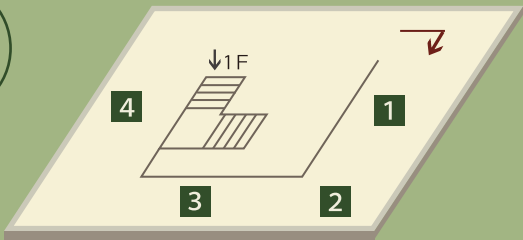


館内のご案内



下呂ふるさと歴史記念館 案内人 縄文くん 文子ちゃん

2F



1 第1展示室「下呂の歴史の幕開け」
旧石器時代 — 平安時代

下呂石の原産地・湯ヶ峰の麓にある旧石器時代の遺跡「大林遺跡」出土品のほか、縄文時代集落遺跡「峰一合遺跡」出土品、下呂市内で出土した豊富な縄文時代の遺物と、弥生時代の遺物、「上ヶ平遺跡」出土の奈良・平安時代の食器を展示します。



槍先形尖頭器の未完成品
旧石器時代
大林遺跡出土



パン状炭化物
縄文時代前期
峰一合遺跡出土



北陸系の縄文土器
縄文時代中期
南垣内遺跡出土

2 第2展示室 1「下呂の中世と統治者」
室町時代 — 戦国時代

美濃国との国境に位置し、源頼朝の命により建立されたとも伝わる室町時代の山林寺院「大威徳寺跡」、下呂市萩原町にある、飛騨一円を統治した戦国飛騨の雄・三木氏の本拠地「桜洞城跡」の出土品を展示します。



双耳壺
室町時代 14～15世紀
大威徳寺跡出土



青磁酒会壺(蓋付)
戦国時代 16世紀
桜洞城跡出土



龍形青銅製品
戦国時代 16世紀
桜洞城跡出土

3 第2展示室 2「下呂の人々とそのあゆみ」
江戸時代

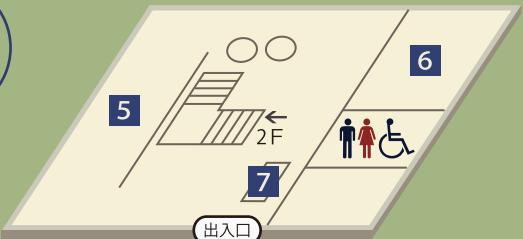
江戸時代の村の姿、益田街道の開通、飛騨の林業史、下呂温泉に関する史料のほか、19世紀に米国の姿を記録した加藤素毛、昭和時代にブラジル在住日本人の医療活動に従事した細江静男医師の史料を展示します。



御用材川下げ証文
天保9年



1F



← 縄文公園

4 第3展示室「下呂の過去から現在へ」
明治時代 — 昭和時代

明治維新期の動乱「梅村騒動」、廃藩置県と町村合併、測量技術の進歩と地図作り、新たな税制「地租改正」の導入に関する史料のほか、太平洋戦争当時の日本と下呂の資料を展示します。



竹沢寛三郎の徳政令(写)
慶応4年



ぜいたくは敵だ!
昭和19年頃



竹原かるた
平成17年
竹原っ子会議制作

屋外展示 峰一合遺跡 縄文公園

峰一合遺跡は、今から約5800年前の縄文時代前期と約1800年前の弥生時代後期の集落遺跡です。1966年から1971年まで、6次にわたる発掘調査が実施されました。発掘後、縄文・弥生時代の住居跡を復元し、史跡公園として整備しました。

この遺跡は、下呂市内にて定住生活の始まりを示す重要な集落遺跡であり、縄文土器と、下呂石製の石器のほか、縄文人の食べ物と考えられる「パン状炭化物」が出土しました。石器・土器・パン状炭化物などの出土品は、下呂ふるさと歴史記念館に展示しています。



7 復元住居跡
／縄文時代前期



8 復元住居跡
／縄文時代前期



9 復元住居跡
／弥生時代後期



10 竪穴住居跡
保存館



発掘当時の住居跡を保存・展示。

← 城平見晴台 (徒歩約30分)



屋外